

「当院における糖尿病透析予防指導の取り組み」

に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

わが国の新規人工透析導入患者の原疾患のうちの約4割を糖尿病腎症が占めており社会的に大きな問題となっています。糖尿病腎症は早期からの集学的治療により、重症化予防・生命予後の改善が期待されることが分かっています。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

当院で透析予防指導を行った腎症2期以降の2型糖尿病患者様の体重、血糖コントロール、腎機能を後方視的に比較することで、透析予防指導の効果を確認することが当研究の目的です。体重、血糖コントロール、腎機能のデータにつきましては、当院の電子カルテから抽出いたします。

対象者・期間

2022年10月から2023年1月まで当院で透析予防指導を受けた、腎症2期以降の2型糖尿病患者様で、2023年11月までのHbA1c、eGFR、BMI、尿タンパク量などのデータを追跡します。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院 代謝内分泌科
担当医師：古川和郎

〒940-2085 新潟県長岡市千秋2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)